



月日が経つのは早いもので、半年後に弊社は設立10周年を迎えます。

これまで順調に営業を続けられてきたのもひとえにご支援を下さっている皆様のおかげと、まずはこの場をもって深く感謝申し上げます。

さてこの度私共ではニュースレターを制作・発行させていただくこととなりました。これは、私たちが自信をもってプロデュースするアーティストの魅力を一人でも多くの方々に知っていただくこと、コンサートの企画・制作・営業の仕事を通じて得たこと・学んだことを紹介し共有することで業界の発展につなげて行くこと、また何より皆様とのコミュニケーションの機会を増やしたいと考えてのことです。拙文も多々あると思いますが、お昼休みに斜め読みしていただければたいへん嬉しく存じます。

初回の序文では社名について紹介させていただきます。Tempo Primoとは音楽用語で「最初のテンポで」という意味です。例えば交響曲においては様々な場面が表れてドラマティックに進行していきますが、ひとたび楽譜にTempo Primoの表示が表れると、立ちどころに元のテンポに戻ります。10年前に社名を決めるにあたっていくつ候補を並べて熟慮を重ねた結果、「常に初心に立ち返る」という思いを込めて、この名前を選びました。音楽教室の家に生まれ、幼少からヴァイオリンやピアノを習い、演奏会に通いながら、素晴らしい音楽に出会って打ちひしがれるような感動を覚えたことが私の原点になっていますが、この仕事を続ける中で、良い時もそうでないときも初心を忘れず、常に原点に立ち返って臨んでゆきたいと思っています。私たちが多くの感動を得て成長の糧となったその芸術に対して今度は徹底奉仕することで、今度は芸術に対して恩返しをしたいと考えております。

ニュースレターに対してはご意見・ご質問などいただければ幸いです。皆様と手を取り合って音楽業界を盛り上げ、良い音楽が溢れる世の中になるよう努力してまいりますので、ご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

2017年9月1日
株式会社テンポプリモ
代表取締役 中村聡武

BOOKS 「天と地と」

(海音寺潮五郎作)

今月のおすすめ本



戦国時代に活躍した越後の武将上杉謙信の半生を、川中島の戦いに至るまで描く大河小説。読み応え抜群、表現巧みの筆致で戦国時代に身を置いているような臨場感を感じます。謙信といえば「敵に塩を送る」話があるのですが、それを裏付ける資料は一切見つからないとか、軍費調達のために迫られて甲斐・信濃の商人への塩の販売を止めなかったとか、いろいろなお話もあるようです。10月2日には海音寺潮五郎の出身の地鹿島で、弊社でプロデュースさせていただいた榎木孝明さんによる朗読会が行われます。
<http://www.k-kb.or.jp/kinmeru/topics/1044/>

ナニこれ!? 変なもの 見つけました!



新橋辺を歩いていて見つけた自動販売機。喉が渇いて買おうとしウーロン茶の料金が、右と左で10円違うその意味は!? 安いほうは冷たくないのか? と考えたあげく200円を投入し、150円のを買う。冷たいウーロン茶が出てきたが、つり銭は40円。つまり単なる表示のつけ間違い…。自動販売機ネタでいえば、押したものと別のものが出てきてガッカリすることもありますね(笑)。

今さらキケナイ! 舞台用語集

vol.1

難易度★ 「バミリorバミる」
舞台上に立ち位置のマーキングを行う。例「そこ、バミっとい!」

難易度★★ 「サブロク、シブロク」
舞台上に積む山台の種類を表す。サブロクは横三尺×縦六尺(一尺は約30cmにつき、三尺は90センチ、六尺は180センチ)。シブロクは四尺×六尺。ちなみに1寸は約3センチ、1間は約180センチ。いずれも3の倍数なのが興味深い。

難易度★★★ 「ケツカッチン」
終了が伸びずに時間内に終えること。(例)「会場の延長料金発生するからケツカッチンで!」若い女性のマネージャーが大声で言うと、ちょっと驚く。

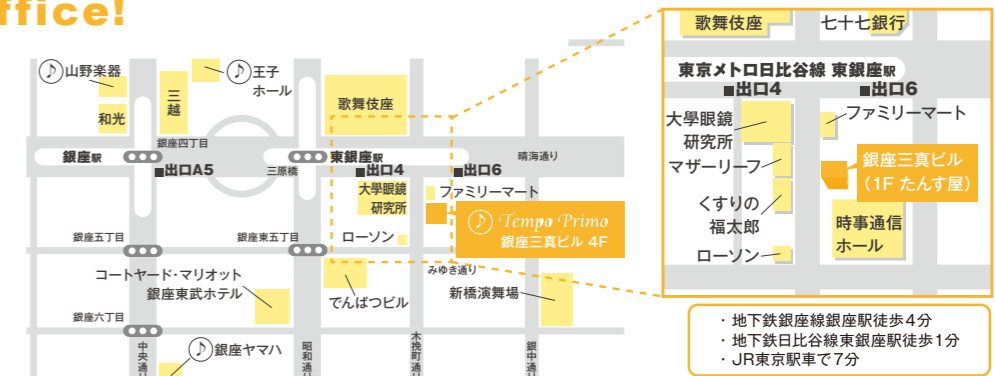
Welcome to our office!

近くをお通りの時はアポなしでも結構ですのでフラリと立ち寄ってください! 歌舞伎座が目印。

株式会社テンポプリモ マネジメント・オフィス
Tempo Primo Japan Co. Ltd. Management Office

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-19
銀座三真ビル4階
TEL: 03-3524-1221
FAX: 03-3524-1222
E-mail: info@tempoprmo.co.jp

www.tempoprmo.co.jp



・地下鉄銀座線銀座駅徒歩4分
・地下鉄日比谷線東銀座駅徒歩1分
・JR東京駅車で7分

経営理念

株式会社テンポプリモは、全従業員のもの心両面の幸福を追求するとともに、3つのA(Artist, Audience, Art)に尽くし、芸術の力で世の中を明るくしてゆくことを経営理念と致します。

Stage report 過去の公演レポート

Vol.1

各ツアーの開催に際しては各地主催者様・関係者様のご理解・ご支援に深くお礼申し上げます。

イヴリー・ギトリス (今年5月)



「音楽を楽しむということを改めて実感したコンサートでした。」(当日のアンケートより)
御年94歳の巨匠、イヴリー・ギトリス。今回、別府でアルゲリッチと共演を果たし、マスタークラスも行った他、高崎と東京の2か所で行われました。日本では初めてのイタマール・ゴランとの共演は、アンケートで「今までで一番良かった」と好評を博すほどの見事な掛け合い。そして、「会話も人生も即興だから」と語った彼の世界は未だ健全。別府では突然2nd奏者にヴァイオリンのチューニングを任せたり、東京では舞台上でゴランと次の曲を相談したり、ギトリスの演奏に合わせてゴランが詩を朗読し始めるなど、「音楽を楽しむ」その世界は最後まで観客を魅了し、「こんなに感動した演奏会は初めてでした」などのお声を頂くほど大盛況に終わりました(担当: 宮嶋大貴)。

第1回

ニシエヒガシエ 全国ホール探訪 カルツツかわさき 川崎市スポーツ文化センター



今年10月に川崎にオープンする新しいホールです。ミュゼ川崎とは反対側のオフィス街を抜けた一角にあります。建物はコンパクトな作りながら2,000席の座席を確保。多目的に利用できますが、木材を壁面に利用するなど響きも期待できます。来年1月28日には弊社招聘のシルク・ドゥラ・シンフォニーの公演を予定しています。ツアー最終公演にあたるここの公演では、このホールならではの演出があるかも? ご期待ください!

2018年アーティスト情報!

年 度明けの5月にはザ・キングズ・シンガーズが来日。世界最高のアカペラグループとして人気を博し、人気絶頂期には3000席のNHKホールをソールドアウトさせるほどでした。当時のメンバーから一新してイケメン・ノックの英国紳士が勢ぞろいした今回は、結成50周年ワールド・ツアーの一環として行われます。6〜7月は、7度目の来日を果たす人気のトリニティ・アイリッシュ・ダンス。アイリッシュ・ダンスの世界チャンピオングループで、過去には各地でソールドアウトを続出させるなど人気を博しています。3月に行われるプロモーションのための先行来日や、公演前のワークショップも各主催者に好評で

す。7月は、今年95歳を迎えたヴァイオリンのレジェンド、イヴリー・ギトリ。もはや奇跡としか言えませんが、20世紀のヴァイオリン演奏史に大きな影響を与えたギトリスは、クライスラーやハイフェッツの当時の音楽観を伝える最後の巨匠だけに、決して聞き逃してはなりません。9月はスヴェトラノフ記念ロシア国立交響楽団が6年ぶりに来日。人気指揮者西本智実と、大作曲家の血筋を引くマリウス・ストラヴィンスキーという二人の指揮者で臨む日本ツアーはこの秋話題の大型公演。ピアノストにリリヤ・ジルベルシュタインを迎えて全国を縦断します。同じ9月にはエストニア国立男声合唱団が来日しNHK交

響楽団の定期演奏会に客演。シベリウスの大曲クレルヴォ交響曲を演奏し、その前後でリサイタルのツアーを行います。10月〜11月はソリスト・室内楽の素質なアーティストが来日。10月にはチャイコフスキーコンクール準優勝のアレクサンドル・ラム(チェロ)、8歳でデビューして天才少女と騒がれ、今年久々の来日を果たしたサラ・チャン(ヴァイオリン)、ウィーン交響楽団アジア人初の首席として活躍し、韓国ではスタープレーヤーとして知らぬ者はいないジャズミン・チェイ(フルート)、11月はヴァレリー・ゲルギエフが惚れ込んでマリインスキー歌劇場に首席として迎えられたソフィア・キプルスカヤ(ハープ)、日本経済新聞

社の池田卓夫さんがベストコンサートと推したダンテ弦楽四重奏団、12月にはシズオ・Z・クワハラ(指揮)が大阪交響楽団の第九に客演します。2019年1月、晴れがましい新年の時節に行われるのはハリウッド・フェスティバル・オーケストラ。本場アメリカの楽団が「風と共に去りぬ」「オズの魔法使い」「インディ・ジョーンズ」「ニューシネマパラダイス」など名画名曲を20曲演奏、実際の映画のスクリーン映像が一部入り、ゲスト・ヴォーカルの歌もふんだんに取り入れ全国各地でソールドアウトを果たした人気公演です。邦人企画もおすすり多数。



西本智実



スヴェトラノフ記念ロシア国立交響楽団



ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ

Recommended Artist Vol.1

今月のイチオシアーティスト

トリニティ・アイリッシュ・ダンス



毎 月一人(一団体)を取り上げて紹介する「今月のイチ押しアーティスト」。初回は「トリニティ・アイリッシュ・ダンス」です。トム・ハンクスやポール・ニューマンのプライベート・コーチを務める大物演出家マーク・ハワードが設立したカンパニーで、アイリッシュ・ダンスの世界選手権ではアメリカの団体として初の優勝を果たしました。2004年の初来日以来各地で売出しが続き、「アイリッ

シュ・ダンスのルーツがこの姿」(宮本亜門)、「もう素晴らしかったの一言に尽きます!」(デヴィ・スカルノ)など、有名人もこぞって絶賛しています。毎回プロモーションの先行来日や、ダンスのワークショップで宣伝や普及に貢献できます。来年の来日は6月〜7月日程が残りわずかとなってきたのでお早めにお問い合わせください!

Vol.1

今月のお役立ち情報

助成金を活用しませんか?



「文化庁」「地域創造」「宝くじ」の助成金を活用するホールも多いと思います。今回はその中でも宝くじの助成金について解説。いくつかの種類がありますが、中でも、同一都道府県内の二館が同じ公演を行うことで申請できる「宝くじ文化公演」は申請しやすいものとして知られています。ちょうど概要が発表になり、申請締め切りは9月15日。以下のホームページでご覧になれます。

<http://www.jichi-sogo.jp/lottery/culture/01-2>

近年は民間の団体が増えたことで横のつながりが少なくなり、二館での申請が減っているとも伺います。「トリニティ・アイリッシュ・ダンス」や「言の葉コンサートシリーズ」など弊社アーティストの申請実績も多数あり、私たちの営業のネットワークで、他館とおつなぎすることもできますのでぜひお知らせください!



坂東玉三郎



サラ・チャン

邦人企画

川島成道(ヴァイオリン) デビュー20周年記念ツアー
NHK交響楽団メンバーによる室内オーケストラ
N響メンバーファミリーコンサート
綾戸智恵+N響メンバーによるスペシャルセッション
横浜シンフォニエッタ(山田和樹指揮)
みんなのうたコンサート
山下洋輔(Pf)x大倉正之助 ジャズピアノと大鼓によるスーパーセッション
黒い薔薇歌劇団
デーモン閣下と一噌幸弘が贈る能楽公演「幽玄悪魔」
言の葉コンサートシリーズ・尾上松也「竜馬がゆく」
人気歌舞伎俳優によるトークショー・坂東玉三郎、ほか

2019年以降の企画

2019年
1月 サラ・チャン(ヴァイオリン)、
ジュリアン・ラクリン(ヴァイオリン)
4月 マリウス・ストラヴィンスキー(指揮)
11月 ジャズミン・チェイ(フルート)
12月 キエフ国立フィルハーモニー交響楽団
2020年
1月 シルク・ドゥラ・シンフォニー
3月 ミュンヘン交響楽団、
時期未定 ウィーン放送交響楽団 ほか